



決算説明資料

2023年3月期
第2四半期決算

2022年11月4日
日特建設 株式会社

経営理念

- ・ **使命 (Mission)**
安全・安心な国土造りに貢献する会社
- ・ **価値観 (Value)**
基礎工事における総合技術力と効率的な経営
- ・ **あるべき姿 (Vision)**
信頼される技術力に培われた、環境・防災工事を主力とした基礎工事のエキスパート

当社は、経営理念である「安全・安心な国土造りに貢献する会社」の実現を目指し、使命として地震、豪雨などの自然災害の復旧や予防事業に積極的に取り組んでおります。

(トピックスP13参照) 2020年7月に熊本県で発生した豪雨災害の復旧工事。

NITTOC

2023年3月期

第2四半期決算

説明資料

- 1.連結 業績サマリー P4,5
- 2.連結 四半期推移 P6,7
- 3.連結 工種別推移 P8,9,10
- 4.連結 貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書
. P11
- 5.トピックス P12,13
- 6.研究開発活動 P14,15,16,17

1- 連結業績数値 サマリー (単位:百万円)



受注高：前期比116%

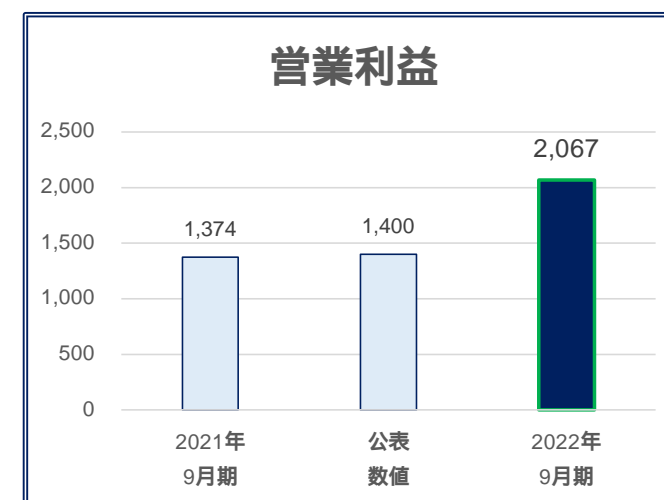
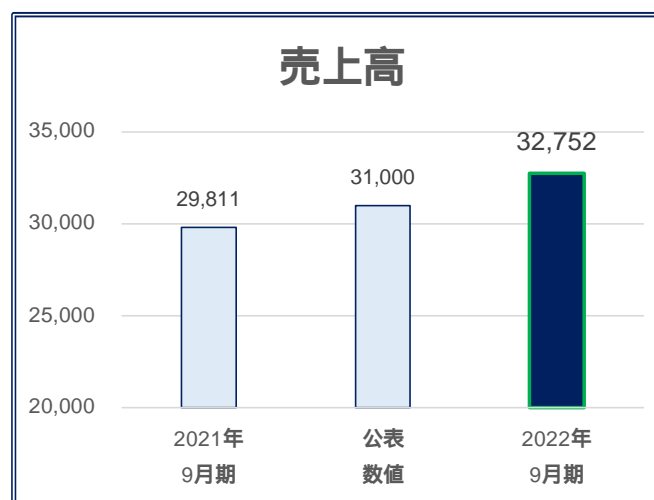
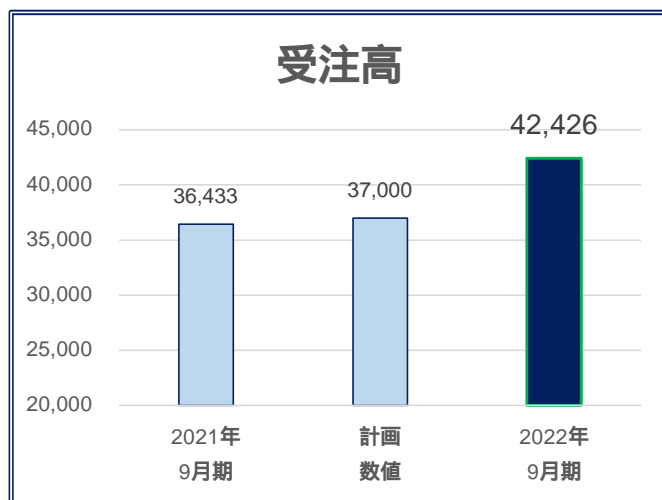
生産性向上を目的に注力している基礎・地盤改良工事の増加、主力の法面工事の安定受注。

売上高：前期比110%

好調な受注高を受け順調な施工進捗と生産性の高い地盤改良工事の売上増。

営業利益：前期比150%

売上高増と原価低減による工事利益増。

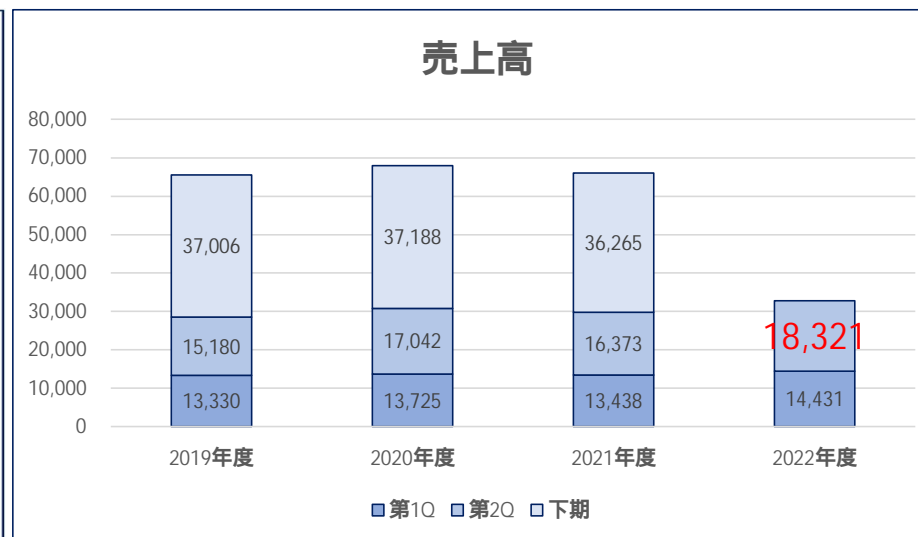
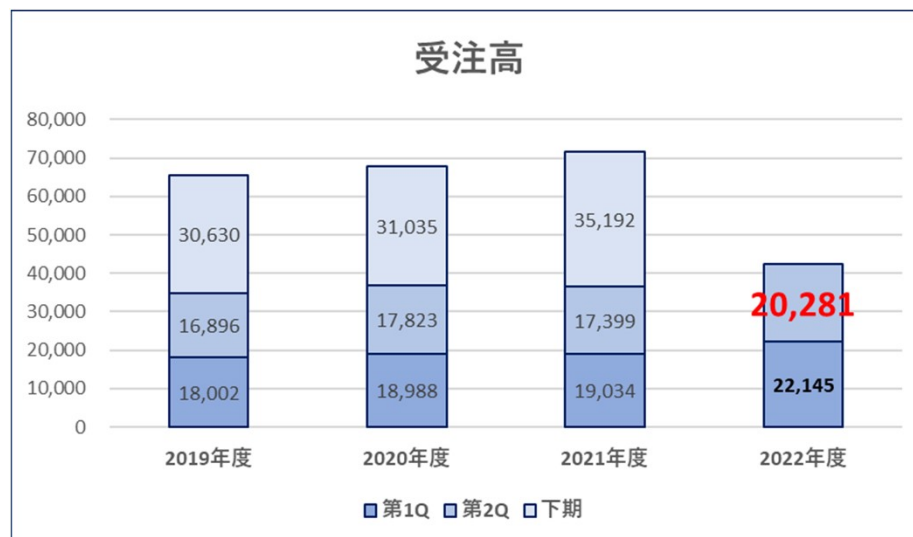


1- 連結業績数値 サマリー (単位:百万円)



連結	2021年 9月期	公表 数値	2022年 9月期	対前年		対公表	
				差異	%	差異	%
受注高	36,433	37,000	42,426	5,992	116%	5,426	115%
売上高	29,811	31,000	32,752	2,940	110%	1,752	106%
完成工事 総利益	5,295	5,300	6,148	853	116%	848	116%
販管費	3,920	3,900	4,081	161	104%	181	105%
営業利益	1,374	1,400	2,067	693	150%	667	148%
経常利益	1,416	1,400	2,137	720	151%	737	153%
親会社株主に帰属する四半期 当期純利益	938	920	1,349	411	144%	429	147%

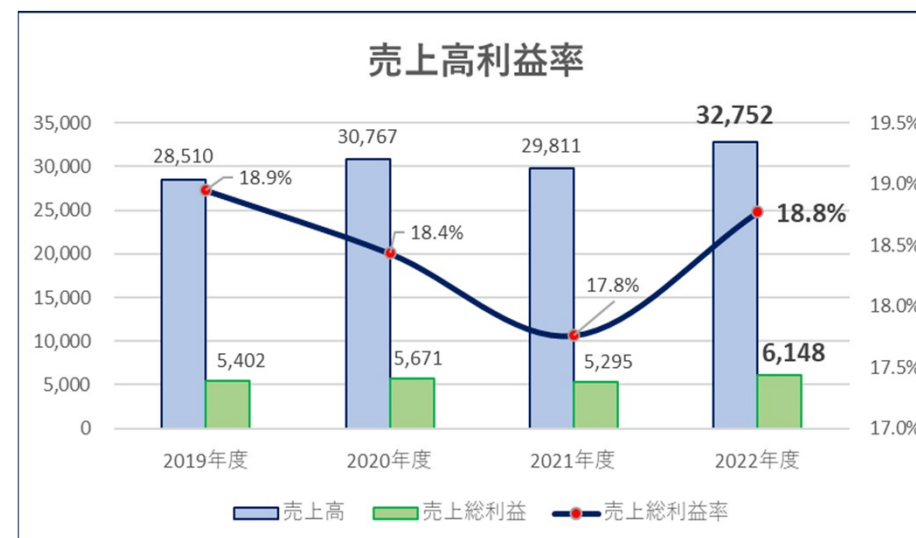
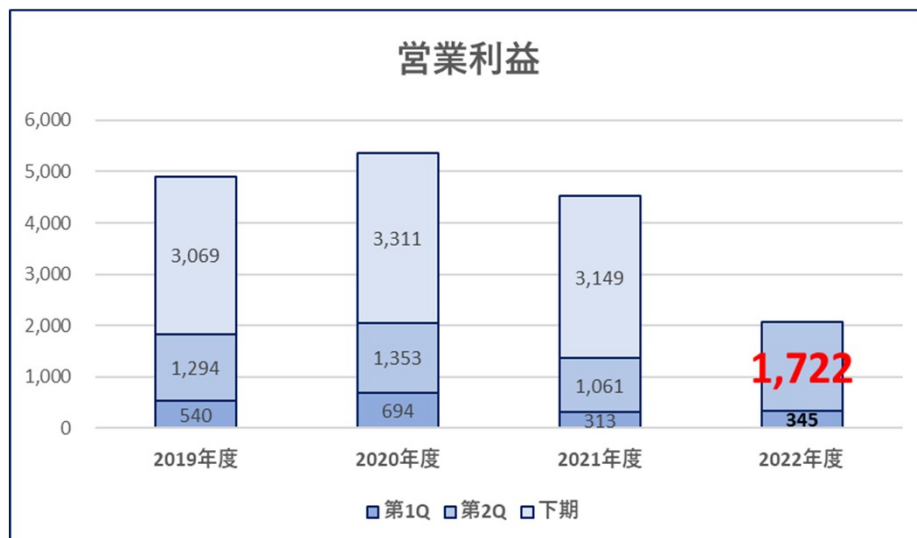
2- 四半期推移 (単位:百万円)



受注高：第2四半期期間（7-9月）202億円（前年対比117%）28億円の増。
第1四半期に続き地盤改良工事の受注増。橋梁補修工事10億円の受注。

売上高：第2四半期期間（7-9月）183億円（前年対比112%）19億円の増。
好調な受注を受け、生産性の高い地盤改良工事の売上増。

2- 四半期推移 (単位:百万円)



営業利益：第2四半期期間（7-9月）17億円（前年対比162%）6.6億円の増。

売上高利益率：18.8%（前年同期1.0%良化）。

売上高の増加と利益率改善により営業利益が増加。

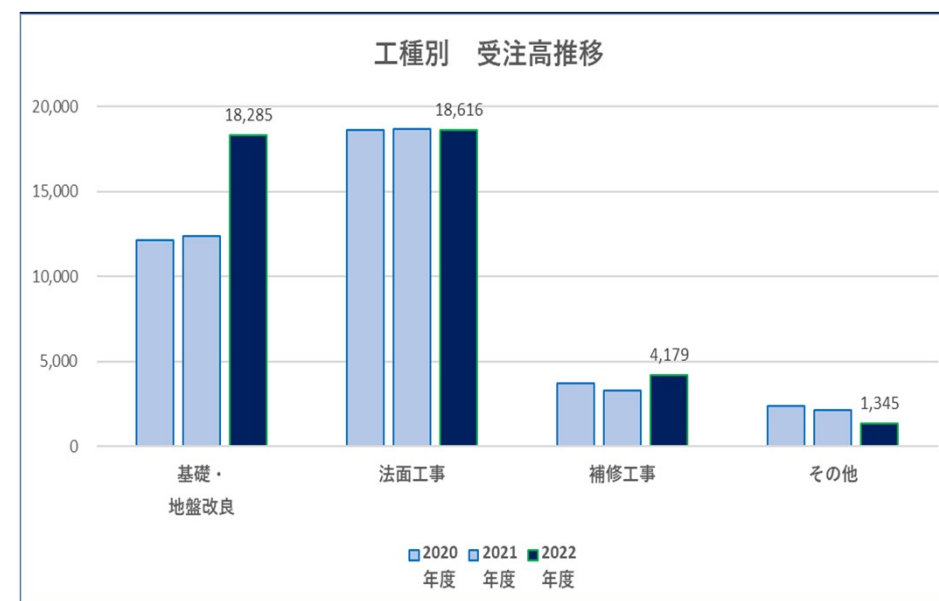
（物価等の上昇、新型コロナウイルス感染症による大きな影響なし）

3- 連結 工種別受注高 (単位:百万円)



受注高 (連結第2四半期)	2020 年度	2021 年度	2022 年度	対前期	
				増減	%
基礎・地盤改良	12,121	12,398	18,285	5,886	147%
法面工事	18,634	18,649	18,616	32	100%
補修工事	3,680	3,260	4,179	918	128%
土木工事	1,774	1,466	720	746	49%
地質コンサル	138	172	285	112	165%
その他	462	485	340	145	70%
合計	36,811	36,433	42,426	5,992	116%

基礎・地盤改良：182億円（前年比147%）と**補修工事**：41億円（前年比128%）の増額と**法面工事**が前年度同期とほぼ同額の186億円を確保したことにより**424億円（前年比116%）**を計上。



3- 連結 工種別売上高 (単位:百万円)



売上高 (連結第2四半期)	2020 年度	2021 年度	2022 年度	対前期	
				増減	%
基礎・地盤改良	10,512	8,948	13,006	4,058	145%
法面工事	14,566	16,214	15,200	1,013	94%
補修工事	4,015	3,202	3,072	130	96%
土木工事	1,150	846	1,011	164	119%
地質コンサル	75	92	146	54	159%
その他	449	506	313	193	62%
合計	30,767	29,811	32,752	2,940	110%

基礎・地盤改良：130億円（前年比145%）計上したことにより**補修工事**、**法面工事**の減少をカバーし**327億円**（前年比110%）を計上。

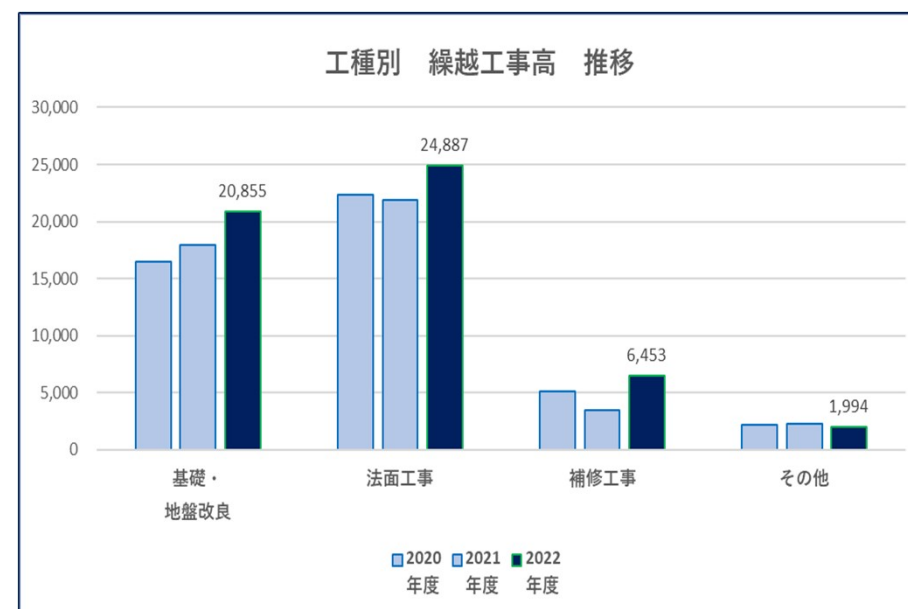


3- 連結 工種別繰越工事高 (単位:百万円)



繰越工事高 (連結第2四半期)	2020 年度	2021 年度	2022 年度	対前期	
				増減	%
基礎・地盤改良	16,503	17,918	20,855	2,936	116%
法面工事	22,296	21,919	24,887	2,968	114%
補修工事	5,111	3,471	6,453	2,982	186%
土木工事	1,739	1,876	1,554	322	83%
地質コンサル	199	200	251	50	125%
その他	193	203	189	13	93%
合計	46,041	45,589	54,191	8,601	119%

基礎・地盤改良：208億円（前年比116%）
法面工事：248億円（前年比114%）
補修工事：64億円（前年比186%）
 により
541億円（前年比119%）の繰越工事を確保。



4.連結 貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)



	2021年 9月期	2022年 3月期	2022年 9月期
流動資産	38,407	42,526	41,160
うち、現金預金	18,229	20,723	20,662
うち、受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産等	16,497	17,934	16,771
うち、未成工事支出金	510	301	486
固定資産	9,297	9,185	8,945
有形固定資産	5,471	5,787	5,715
無形固定資産	631	607	574
投資その他の資産	3,194	2,791	2,655
資産合計	47,705	51,712	50,105
流動負債	14,622	16,790	14,957
うち、支払手形・工事未払金等	10,715	11,921	10,690
うち、短期借入金	141	-	190
うち、未成工事受入金	528	593	695
固定負債	4,363	4,311	4,368
負債合計	18,985	21,101	19,326
純資産の部	28,719	30,610	30,778
負債純資産合計	47,705	51,712	50,105

	2021年 9月期	2022年 9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,311	1,361
うち、税引前四半期(当期)純利益	1,414	2,134
うち、減価償却費	207	282
投資活動によるキャッシュ・フロー	501	360
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,311	1,153
うち、配当金の支払い額	1,167	1,332
現金及び現金同等物残高	18,229	20,662

5- . トピックス

2022年8月 第3回日本建設業連合会「土木賞」受賞

当社が施工に携わったプロジェクトが受賞し、当社は関係者として表彰されました。

島根県 「千本ダム耐震補強改修プロジェクト」



建設後100年を経過している（完成1918年）千本ダムは、現在でも松江市の水道水の4分の1を供給する水道専門ダムで、国指定の登録有形文化財や土木学会推奨土木遺産にも指定されています。

地震時の堤体安定性にリスクがあることが確認されたことを受け、施工者である株式会社大林組のもとで国内初の「堤体PS（プレストレス）アンカー工法」により耐震補強の実施工を担当したことで今回の関係者表彰を受賞いたしました。

インフラ機能と歴史的価値を守りながら、工期と工費を大幅に抑えて耐震補強を成功させたことが評価されました。

土木賞は、過去2回も関係者として表彰されており土木賞創設以来3回連続の表彰になります。

写真提供：日本建設業連合会

5- . トピックス

熊本県：球磨川沿線道路災害復旧工事

【施工状況（杭施工中）】



洪水により崩壊した護岸を親杭パネル壁工法で強固な擁壁を構築し堤防の嵩上げを行った。（加工したパネルを使用することで工期短縮と環境に配慮した工法）



2020年7月に発生した豪雨により球磨川が氾濫。洪水により国道219号が広範囲で崩壊した。

【施工後（パネル設置）】



6- .研究開発活動 地盤改良強化

NITTOC

新しい地盤改良工法の開発



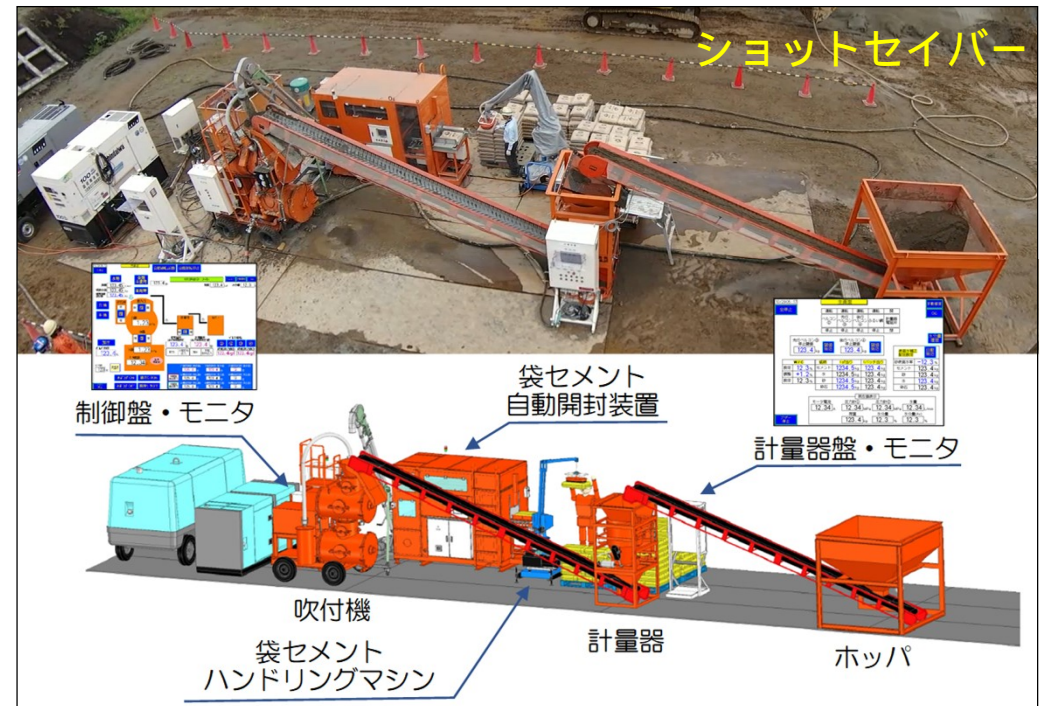
軟弱な地盤に建物や構造物を作る場合は、地盤内に柱状の改良体を形成して強化を図る地盤改良が不可欠です。

地盤改良の代表的な方法である高圧噴射攪拌、機械攪拌を組み合わせた「**高圧噴射併用機械攪拌工法**」を新たに開発しました。

小型の機械で大きな改良体を作ることができ、それぞれの方法だけでは足りない部分を補完することにより、効率よく確実に地盤を改良することが期待できます。

6- .研究開発活動 機械化・省力化(1)

法面吹付工事の機械化・省力化（建設業従事者の減少・高齢化対策）

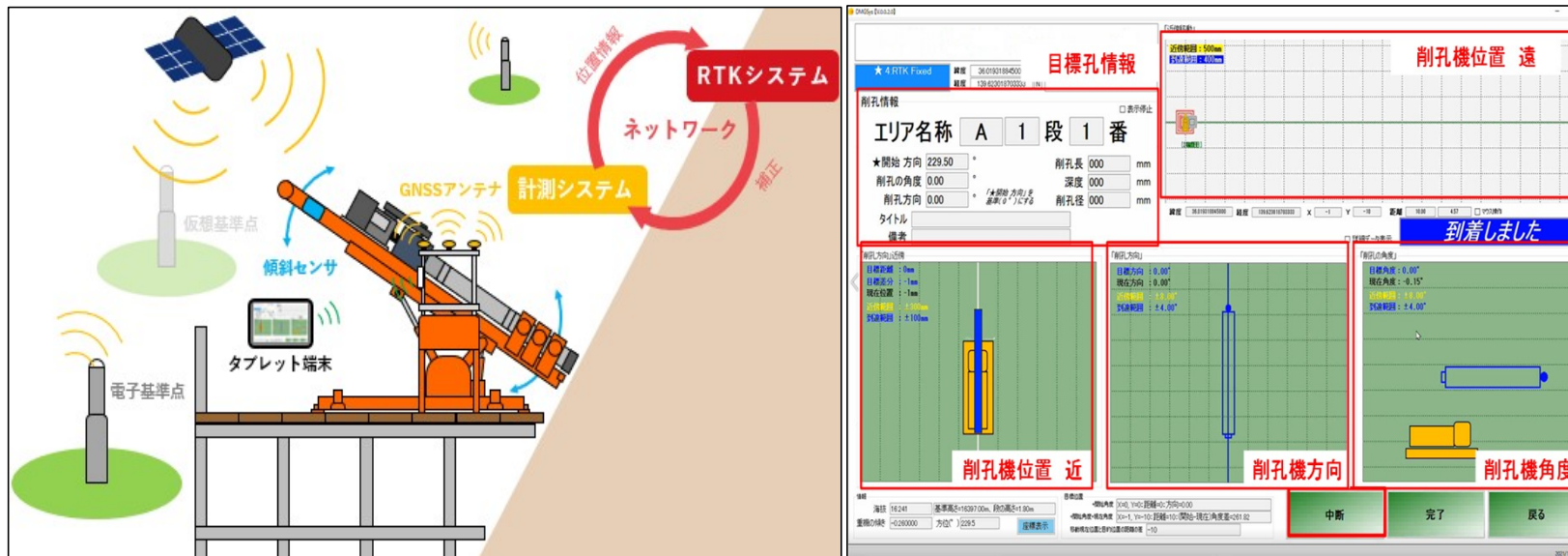


遠隔吹付技術「スロープセイバー」、吹付材料自動供給プラント「ショットセイバー」を開発し、現場適用を進めています。今後はさらにAIを活用して、自動化・自律化を目指します。

6- 研究開発活動 機械化・省力化(2)



ボーリング削孔の機械化・省力化

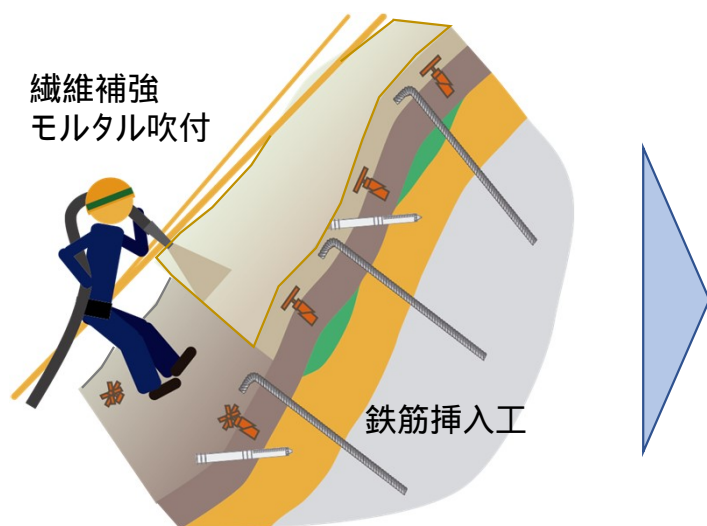


RTK (Real Time Kinematic) を用いて、ボーリングマシン据付け時に、設計の削孔方向、角度を満足するようにアシストする**マシンガイダンス技術**を開発しました。現場でのマシン据付け時の測量が不要となり、作業の省力化が期待できます。引き続き**マシンコントロール技術**の開発につなげていきます。

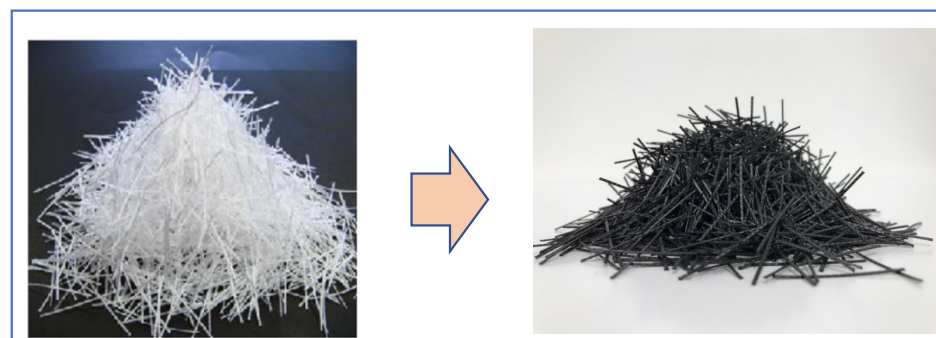
6- 研究開発活動 補修工法の開発



環境にやさしい材料を使った補修工法



老朽化した吹付法面補修工法
「ニューレスプ工法」



エコBCファイバーへの切り替え

当社開発工法である「ニューレスプ工法」は、老朽化した吹付法面に有機繊維補強モルタルを増吹付して補修する方法です。

本工法に使用する補強繊維として、30%リサイクル材料を使用した繊維「**エコBCファイバー**」を開発し、環境にやさしい材料として導入を進めています。今後さらなるリサイクル化、脱プラスチックを目指します。